

中東情勢の早期沈静化と平和的解決等を求める決議

金沢市議会は、アメリカ及びイスラエルによるイランへの軍事攻撃と、それに対するイラン側の報復攻撃に、深い憂慮を表明する。

こうした事態は、多くの貴い命を危険にさらし、地域の安定を損なうのみならず、国際社会の平和と安全にも極めて深刻な影響を及ぼすものである。加えて、原油の供給や物流の混乱、物価上昇等を通じて、我が国の経済や国民生活、さらには本市市民の暮らしにも大きな影響を及ぼすことが懸念される。

平和都市宣言の下、核兵器廃絶と恒久平和の実現を希求してきた金沢市議会は、これ以上事態を悪化させないため、全ての関係当事国に対し、自制ある行動を強く求めるとともに、国際法及び国際人道法を遵守し、民間人の保護に最大限配慮するよう求めるものである。

また、政府においては、関係国及び国際社会と緊密に連携しつつ、事態の早期沈静化と平和的解決に向けた外交努力を一層強化するとともに、在外邦人の安全確保、エネルギーの安定供給及び物価高騰対策に万全を期するよう強く求める。

ここに、決議する。

令和8年3月18日

石川県金沢市議会議長 前 誠 一